

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(12/3)

文：武田、写真：山 國

日 時：2020(令和 2)年 12 月 3 日(木) 9:30~15:00

気 象：晴(活動地 8℃)

活動エリア：4 5 林班ろ-0 4、に-0 3

活動内容：境界標#170 北側斜面の枯損木・倒木等の処理と土留め作り、落枝整理、枝打ち

境界標#165 付近、天然林の枯損木・倒木処理と土留め作り、落枝処理、林床整備

参加者：猪川 誠、石原順子、内海宏一、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、豊田哲也、
中村賢三、宮本 廣、山 國 計 1 2 名

<新任森林官の登場>

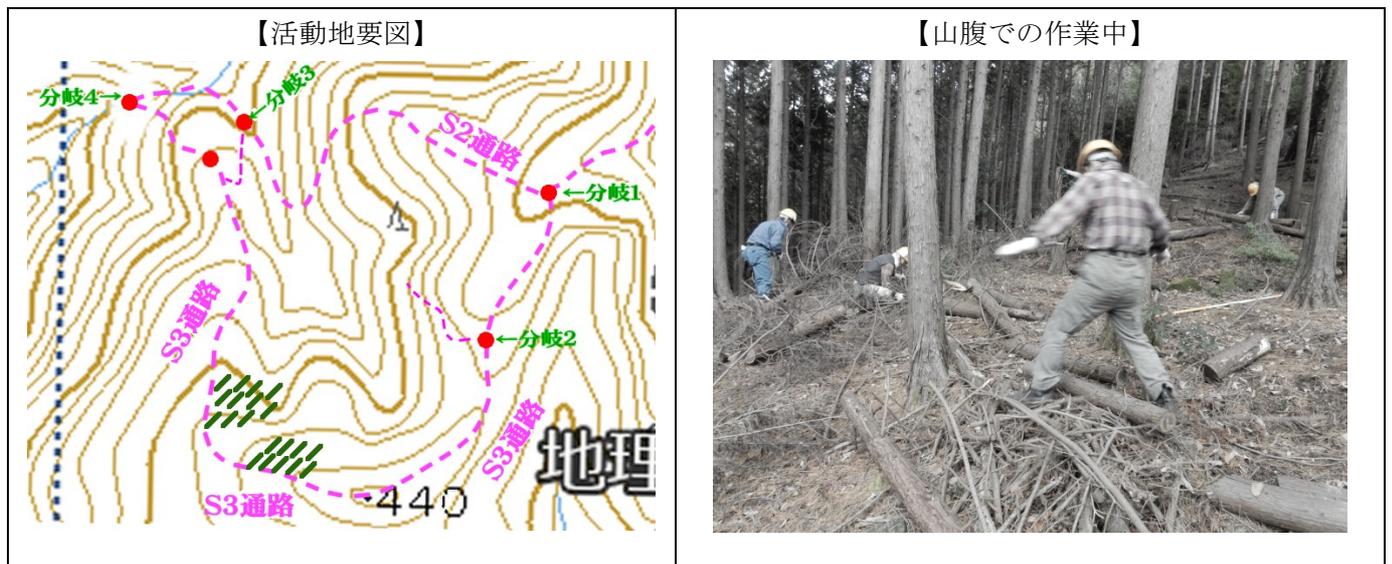
お昼前、溪の向こうに時々ヘルメットが見え隠れする。これが何と**箕面森林事務所の平尾さん**。10月に交替した処で、前任地の広島では主にデスクワーク。現場廻りは初めてとのこと。これから森林官として一人で北摂から紀泉高原までをカバーされる訳で、「何かと宜しく」である。一緒に弁当をつかい、交々お話し。午後、斧田会員が活動地一帯を案内。

さて、**今日からの活動は標高の低い4 5 林班に移る**。尾根筋の天然林と西側山腹で、我々が取り組むのは枯損木除伐や倒木などの整理(土留め作り)、過密広葉樹の間伐になる。気温は8℃、**昼食時には一枚羽織らぬと身体が冷える**。

<今日の成果>

間伐のお蔭か、山腹斜面は見通しが良く、尾根筋も割と平坦。足元はまずまずだが、玉切りは勿論、土留めへの運搬、枝の処理と、手の掛かることになりなし。一寸した打ち身、切り傷、果ては後日の筋肉痛と、**数え上げれば無傷とはいかぬのも毎度のこと**。とは言え、山腹と尾根筋合計で**面積 0.22ha は整備、尾根の作業道では倒木 3 本、山腹では枝打ち 10 本以上**の成果。

<写真編①>



<写真編②>

【山腹の作業後】



【尾根筋での倒木処理】



【「玉切り」は土留め場所に運ぶ】



【尾根の作業道：作業後】



【正月近し：郡上八幡から干し柿の贈り物】



【本山寺山では秋の名残り キノコ】

